

2019年3月期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社
取締役
専務執行役員 CFO

2019年4月26日

Beyond
2020



5G Testing
Anritsu



東証第1部 : 6754
<https://www.anritsu.com>

Anritsu
envision : ensure

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

I. 事業概要

II. 2019年3月期 連結決算概要

III. 2020年3月期 通期業績予想（連結）

I. 事業概要

T&M事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ▶ モバイル市場 : 5G, LTE
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2019年3月期 実績 (連結) : 997億円

T&M 68%			PQA 23%	その他 9%
モバイル 53%	ネットワーク・インフラ 26%	エレクトロニクス 21%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 19%	アジア、パシフィック 33%	米州 32%	EMEA 16%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

➡ GLP2020第1年次目標を達成する

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前期実績	当期実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	885	1,008	123	14%
売上高	860	997	137	16%
営業利益	49	112	63	129%
税引前利益	46	114	68	147%
当期利益	29	90	61	210%
当期包括利益	39	94	55	143%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

 T&M：5G初期開発投資の波をとらえて25%成長 (単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前期実績	当期実績	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
T&M	売上高	544	682	138	25%
	営業利益	21	94	73	338%
	(調整後営業利益)	(25)*	(94)	69	274%
PQA	売上高	225	231	6	2%
	営業利益	20	16	△4	△18%
その他	売上高	90	84	△6	△6%
	営業利益	15	11	△4	△21%
調整額	営業利益	△7	△9	△2	-
合計	売上高	860	997	137	16%
	営業利益	49	112	63	129%

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

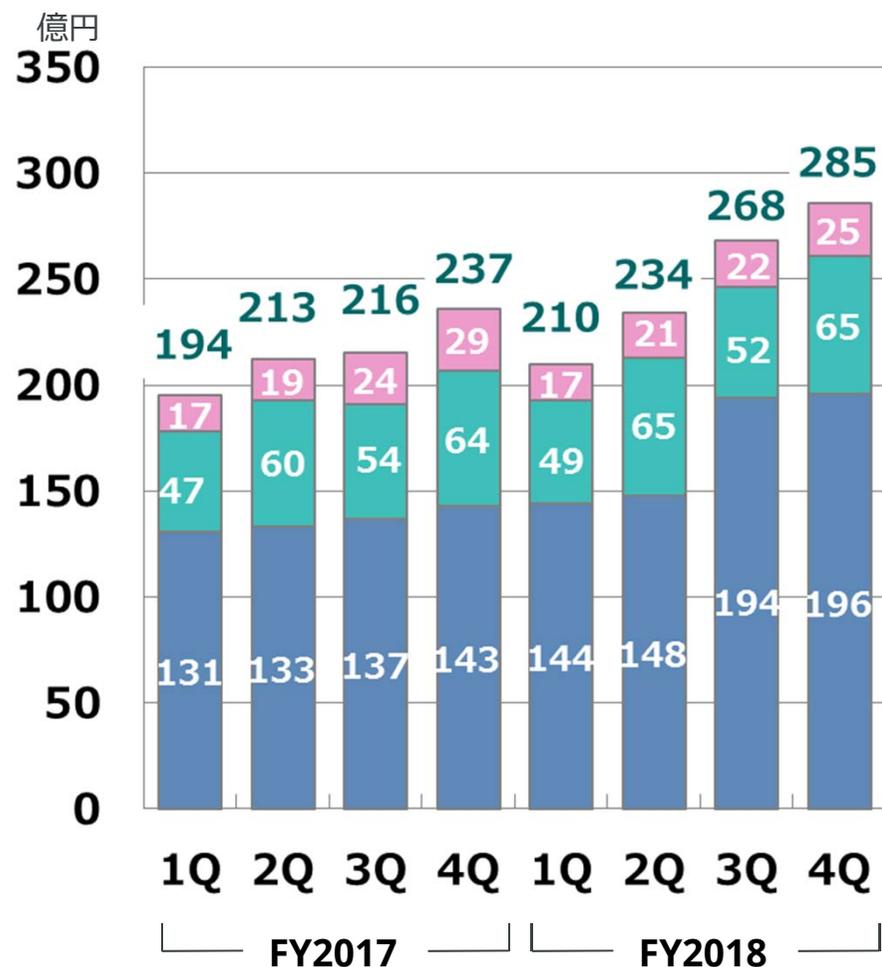
(注3) 当連結会計期間から本社管理費等の各事業セグメントへの配分方法を変更しており、前連結会計年度の数値は組替再表示しています。

*T&M調整後営業利益は、米国でのリストラ費用3億円を控除した数値です。

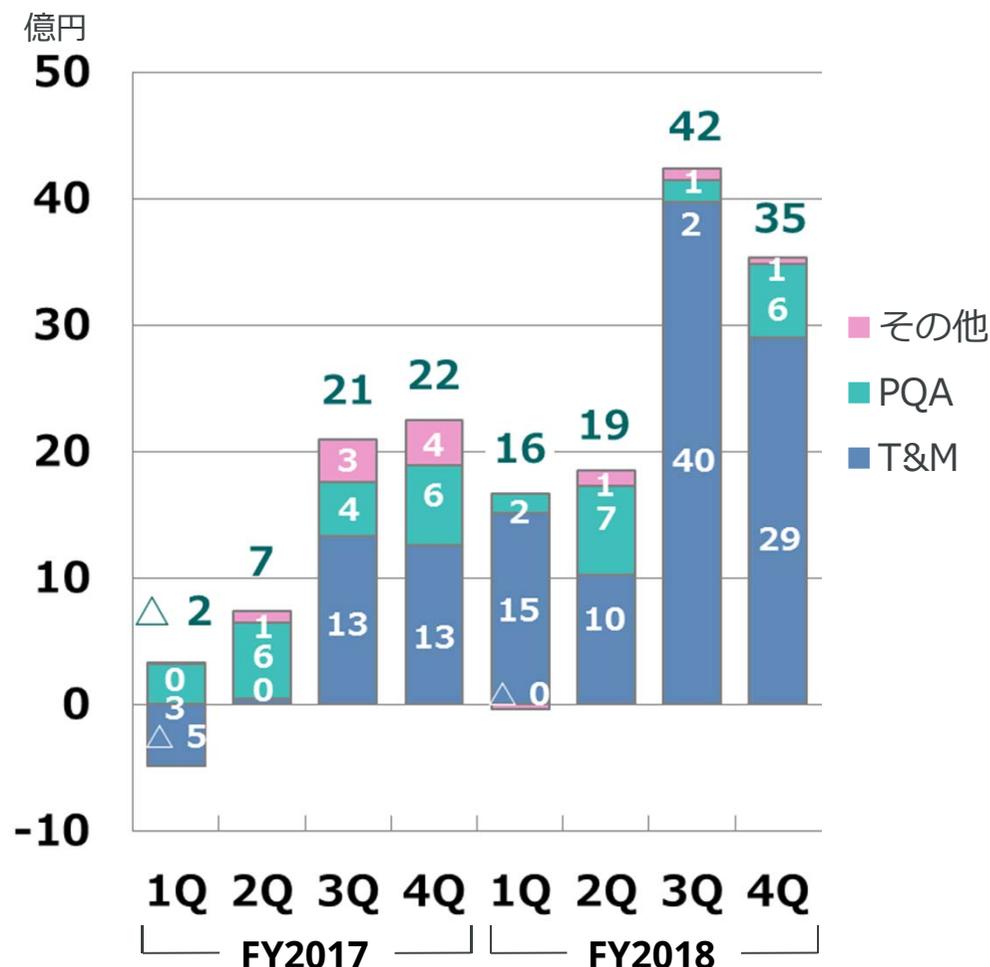
T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

➡ 4Q(1-3月)営業利益率：連結12%, T&M15%, PQA9%



売上高



営業利益

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) 営業利益の「その他」には「調整額」が含まれています。

Ⅱ - 4. 事業別営業概況

セグメント		2019年3月期（4月-3月）の状況
 T&M : 5G商用化スケジュール順調に進展		
モバイル	LTE	LTE-Aへの投資は抑制・縮小が続く
	5G	MWC19にて5G端末相次いでリリース
Network Infrastructure		米国の内需関連投資は堅調
アジア	韓国で5Gサービス開始、中国にて5G商用化実験準備	
米州	主要オペレータにて5Gサービス開始	
 PQA : 国内・海外とも食品市場の品質保証、自動化、省力化の投資が堅調に継続		

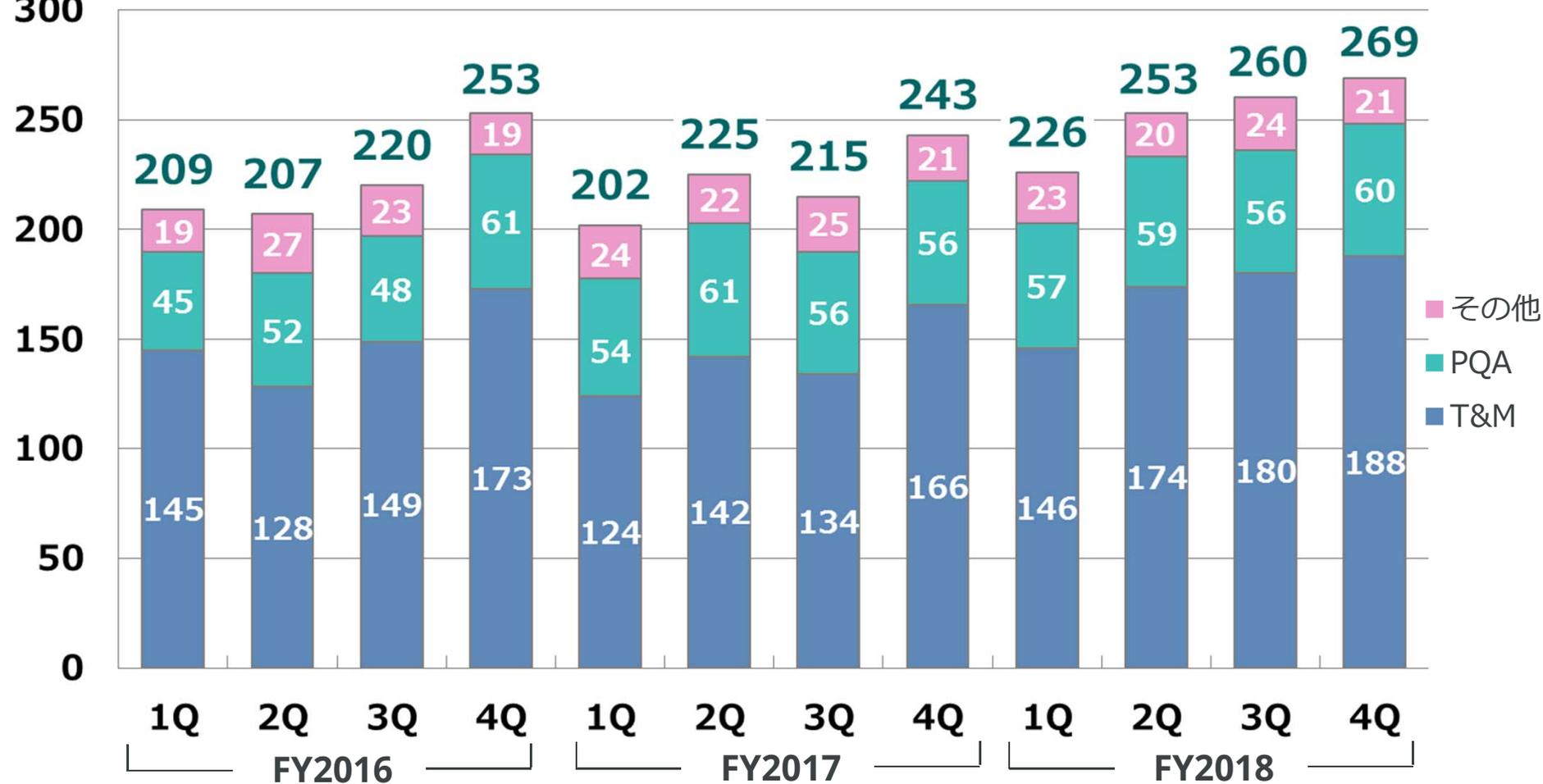
T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance
 MWC19 : Mobile World Congress 2019

Ⅱ - 5. 受注高推移

➡ T&M：前年同期比13%増

➡ PQA：前年同期比8%増

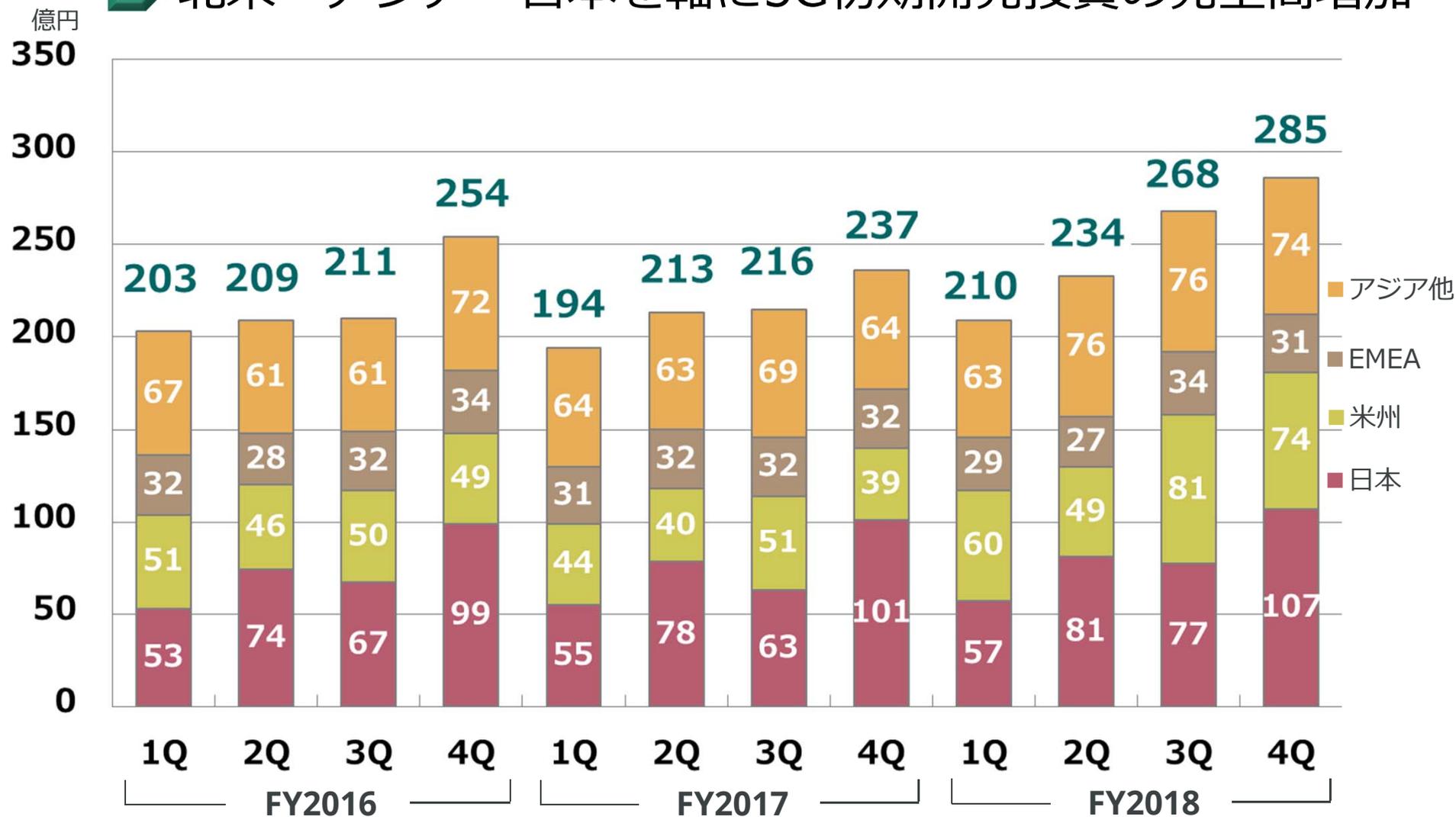
億円
300



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 6. 地域別売上高推移

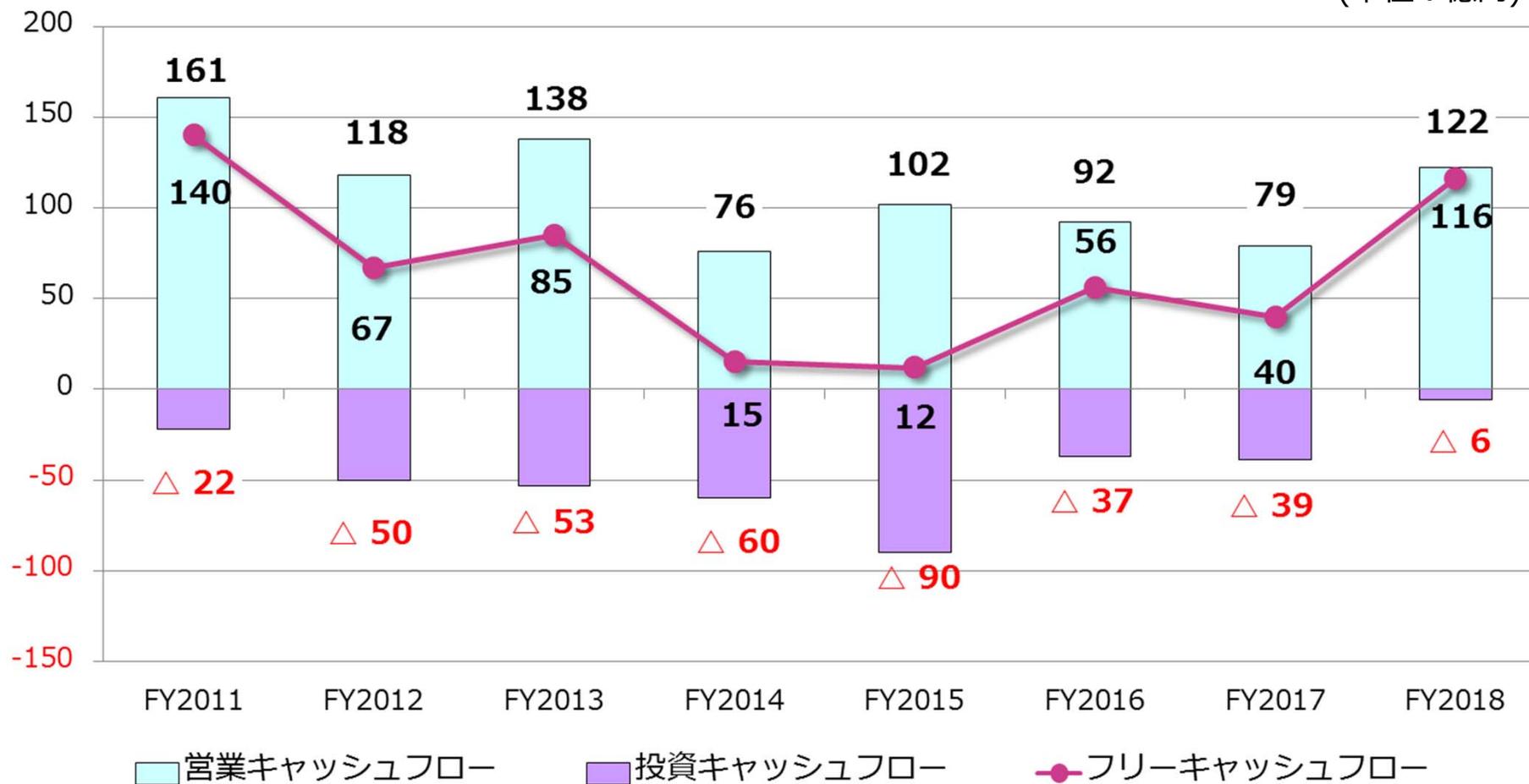
▶ 北米・アジア・日本を軸に5G初期開発投資の売上高増加



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ-7. キャッシュフロー (1/2)

(単位：億円)



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

II - 7. キャッシュフロー(2/2)

➡ 営業CFマージン率12.3%

FY2018

- ①営業CF： 122億円
- ②投資CF： △ 6億円
- ③財務CF： △21億円

フリーキャッシュフロー

(① + ②)： 116億円

現金同等物期末残高

451億円

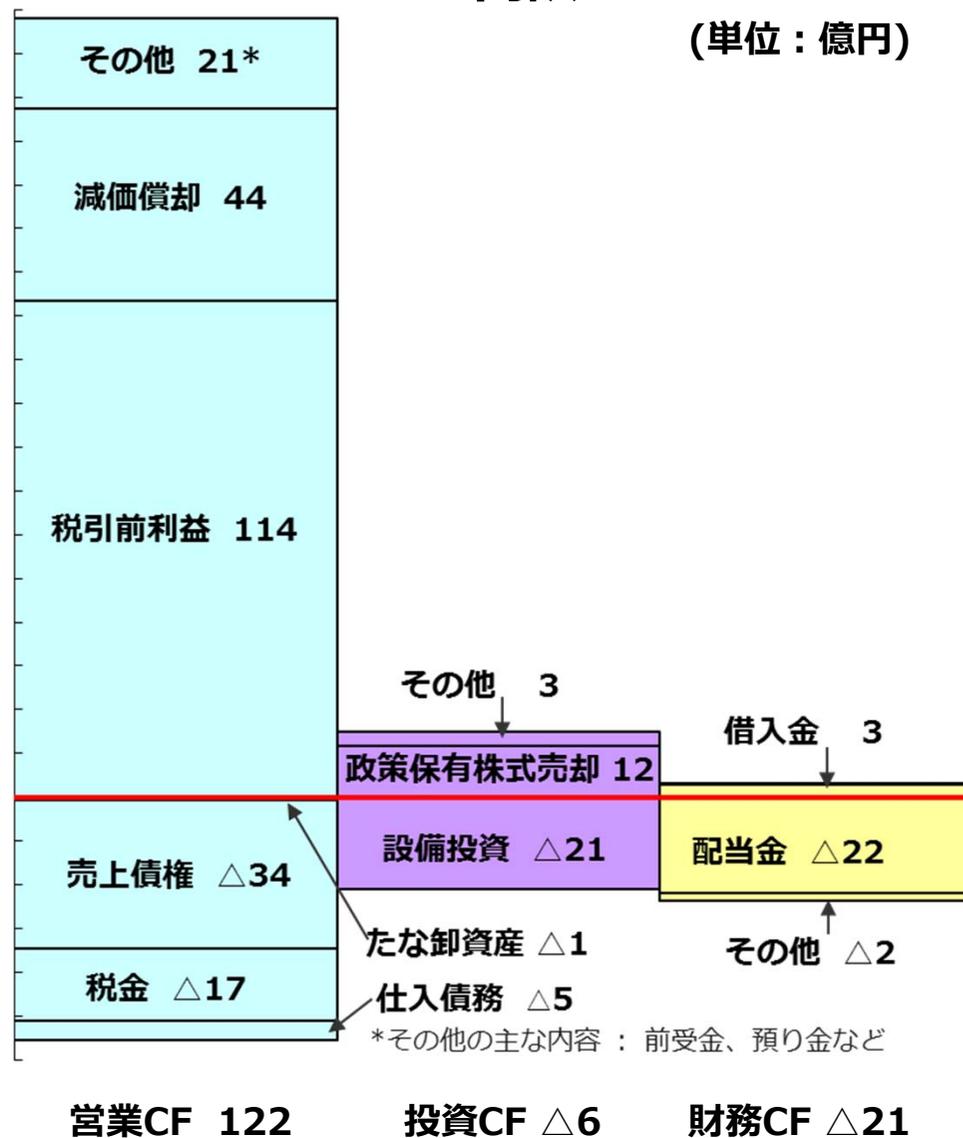
有利子負債高

162億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

内訳

(単位：億円)



Ⅲ-1. 2020年3月期 通期業績予想 (連結)

➡ 積極的な5G戦略投資で競争力強化

(単位：億円)

		2019/3期	2020/3期		
		前期実績	通期予想	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高		997	1,020	23	2%
営業利益		112	100	△ 12	△ 11%
税引前利益		114	100	△ 14	△ 12%
当期利益		90	75	△ 15	△ 17%
T&M	売上高	682	690	8	1%
	営業利益	94	80	△ 14	△ 15%
PQA	売上高	231	245	14	6%
	営業利益	16	20	4	24%
その他	売上高	84	85	1	1%
	営業利益	11	9	△ 2	△ 21%
調整額	営業利益	△ 9	△ 9	0	-

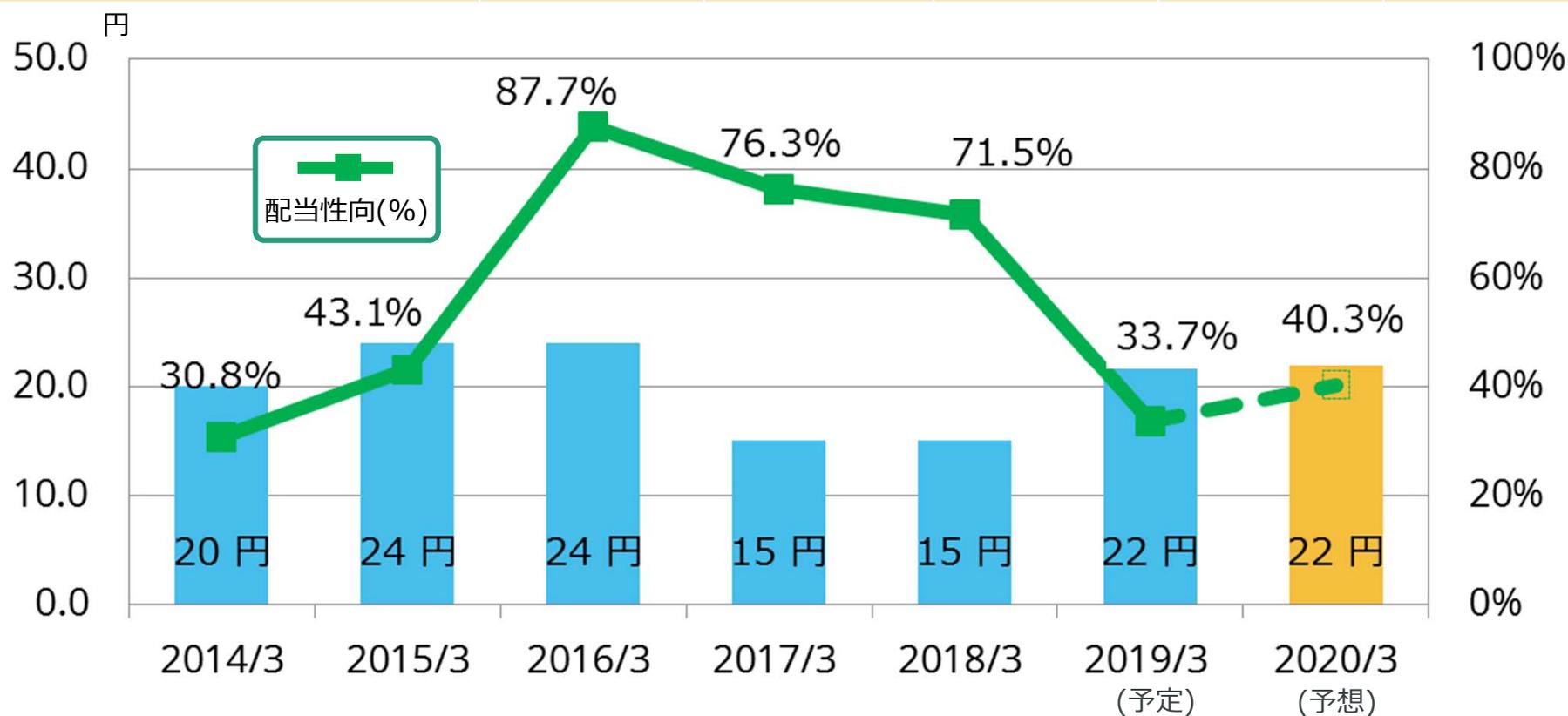
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(参考) FY18為替レート : 1米ドル111円、1ユーロ=128円
 FY19想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=125円

Ⅲ- 2. 配当予想について

年間配当

	年間配当	当期利益	配当性向	DOE	ROE
2020年3月期 (予想)	22円	75億円	40.3%	3.2%	8%
2019年3月期 (予定)	22円	90億円	33.7%	3.7%	10.9%





Anritsu
envision : ensure

